

支援学校高等部 情報

解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1** ～大問 **3**、特別支援教育に関する大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** については、記述式解答用紙に、大問 **2** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **2** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 次の文章を読み、ア～ウの問いに答えよ。

「教育の情報化」とは、情報通信技術の、時間的・空間的制約を超える、双方向性を有する、カスタマイズを容易にするといった特長を生かして、教育の質の向上を目指すものであり、具体的には次の3つの側面から構成され、これらを通して教育の質の向上を図るものである。

- ① ⁽¹⁾ 情報教育：⁽²⁾ 子供たちの(A)の育成
- ② 教科指導におけるICT活用：ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等
- ③ 校務の情報化：教職員がICTを活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、校務の負担軽減等

あわせて、これらの教育の情報化の実現を支える基盤として、

- ・⁽³⁾ 教師のICT活用指導力等の向上
- ・学校のICT環境の整備
- ・教育情報セキュリティの確保

の3点を実現することが極めて重要である。

教育の情報化に関する手引（令和元年12月 文部科学省）

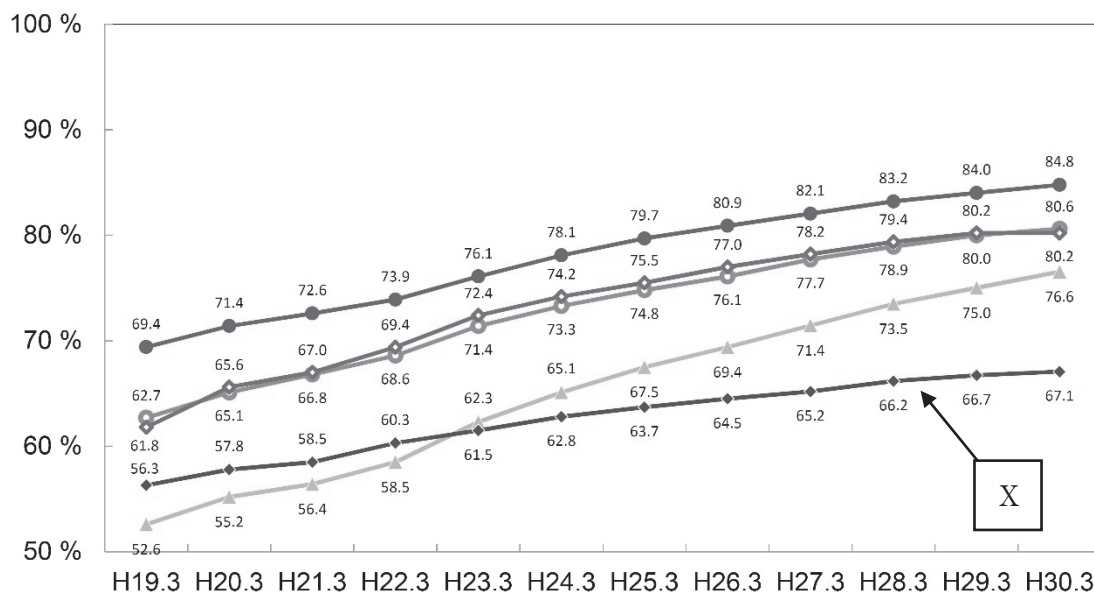
ア 下線部(1)について、情報教育の目標は「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議」がとりまとめた、第1次報告「体系的な情報教育の実施に向けて」（平成9年10月）において3つの観点に整理されている。この3つの観点とは、情報活用の実践力、情報社会に参画する態度と、あと1つは何か答えよ。

イ 下線部(2)は、平成29年、30年、31年に改訂された小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領総則において、言語能力、問題発見・解決能力等の育成と並ぶ学習の基盤となる資質・能力として位置付けられている。空欄(A)に当てはまる語句を答えよ。

ウ 下線部（3）に関連して、次の文章を読み、問いに答えよ。

文部科学省は、初等中等教育における教育の情報化の実態等を把握し、関連施策の推進を図るため、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を実施している。

下図は、「教員のICT活用指導力」の結果について、その推移を示したグラフである。



平成29年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）

（平成30年3月現在）〔確定値〕（平成30年10月 文部科学省）

教員のICT活用指導力については、選択肢にある5つの大項目からなるチェックリストに基づき、教員が自己評価を行う形で調査している。

図中の「X」は、次の1～5のどれか。数字を答えよ。

- 1 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
- 2 授業中にICTを活用して指導する能力
- 3 児童・生徒のICT活用を指導する能力
- 4 情報モラルなどを指導する能力
- 5 校務にICTを活用する能力

(2) 次のア～ウの問いについて、適切な数値を答えよ。

ア 通信速度128Kbpsの専用線で接続された端末間で、平均10KByteのファイルを、2秒ごとに転送するときの回線利用率は何%となるか。小数第1位で答えよ。ここで、ファイル転送に伴い、転送量の20%の制御情報が付加されるものとする。なお、1K = 1,000 とする。

イ A支店～B支店、A支店～C支店、A支店～D支店がそれぞれ独立した通信回線で接続されている。A支店～B支店の稼働率は0.9、A支店～C支店の稼働率は0.8、A支店～D支店の稼働率は0.9である。A支店～B支店の稼働率を0.95以上に改善するために、B支店～C支店にバックアップ回線を新設することを計画している。新設する回線の稼働率は最低限いくら必要か。

ウ データをダウンロードしながら途切れることなく再生するために、再生開始前のデータを一時的に蓄えておくことをバッファリングという。

符号化速度が6Mbpsの映像データ450MByteを、通信速度が4.8Mbpsのネットワークを用いてダウンロードしながら途切れることなく再生するためには、再生開始前のデータのバッファリング時間として最低何秒間が必要か。なお、1M = 1,000K、1K = 1,000とする。

(3) 著作権法（令和2年6月改正）について、次のア、イの問いに答えよ。

ア 著作権法第23条により、教員は自ら作成した動画教材を、児童生徒に自宅から視聴させるために、インターネット等で公開することができる。この権利名を答えよ。

ただし、動画教材には、他者の著作物は利用していないものとする。

イ 著作権法第35条は、学校その他の教育機関における複製等について規定している。

学校その他の教育機関で、著作物を使用したオンデマンド授業を行う場合、誰が何をしなければならないと定められているか答えよ。

(4) 次の資料を読み、ア～ウの問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：NHK NEWS WEB（2020年5月26日）

『SNS事業者団体が緊急声明“禁止事項の違反 利用停止など徹底”』の一部
(<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200526/k10012446081000.html>)

※掲載終了

NHK NEWS WEB（2020年5月26日）

『SNS事業者団体が緊急声明“禁止事項の違反 利用停止など徹底”』の一部

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200526/k10012446081000.html>

ア 空欄①に当てはまる語句を答えよ。

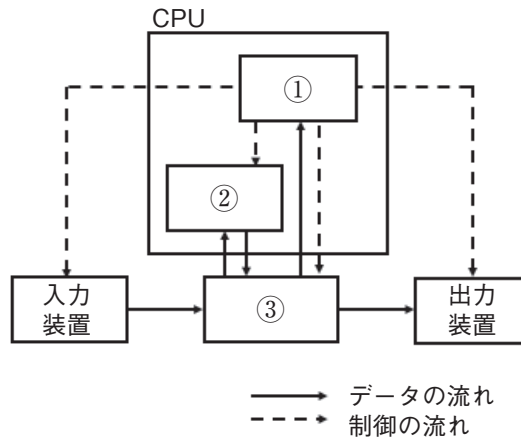
イ 空欄②に当てはまる法律名を答えよ。

ウ 下線部に関連して、発信者情報として開示を求めることができる情報について、氏名、住所のほか、3つ答えよ。

2 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) コンピュータの基礎について、次のア～ウの問いに答えよ。

ア コンピュータの主要な装置は、5つに分けることができる。下図の空欄①～③に当てはまる正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は



- | | ① | ② | ③ |
|---|------|------|------|
| 1 | 記憶装置 | 演算装置 | 制御装置 |
| 2 | 演算装置 | 制御装置 | 記憶装置 |
| 3 | 演算装置 | 記憶装置 | 制御装置 |
| 4 | 制御装置 | 記憶装置 | 演算装置 |
| 5 | 制御装置 | 演算装置 | 記憶装置 |

イ 下図に示す16ビットの浮動小数点形式において、10進数0.375を正規化した表現はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1ビット	4ビット	11ビット
s	e	f

s : 仮数部の符号 (0 : 正、1 : 負)
 e : 指数部 (2を基数とし、負数は2の補数で表現する)
 f : 仮数部 (符号なし2進数)

- | | | | |
|---|---|------|--------------|
| 1 | 0 | 1111 | 011000000000 |
| 2 | 0 | 1111 | 110000000000 |
| 3 | 0 | 1111 | 001100000000 |
| 4 | 0 | 0001 | 011000000000 |
| 5 | 0 | 0001 | 110000000000 |

ウ コンピュータの内部では、2進数のあらかじめ決められた桁数で数値を表現するため、実際の数値を正確に表せない場合がある。次の説明のうち、「情報落ち」について示したものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

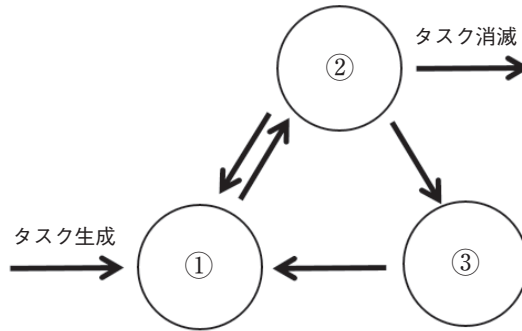
- 1 限られた桁数の範囲で数値を表す際に、四捨五入や切上げ、切捨てなどを行うことで発生する誤差。
- 2 計算を途中で打ち切ることによって生じる誤差。
- 3 絶対値の大きな数値と絶対値の小さな数値の足し算や引き算を行ったときに、小さな数値の桁情報が無視されてしまい、計算結果に反映されないために発生する誤差。
- 4 絶対値のほぼ等しい2つの数値の引き算を行ったときに、有効桁数が減少するために発生する誤差。
- 5 計算結果の桁数が、コンピュータが扱えるビット数を超えることによって発生する誤差。

(2) OSの役割について、次のア～エの問いに答えよ。

ア OSはCPUの使用権を適切に割り当てるために、タスクを3つの状態に分けて管理している。

下図の空欄①～③に当てはまる正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は



	①	②	③
1	実行可能状態	実行状態	待ち状態
2	実行可能状態	待ち状態	実行状態
3	実行状態	実行可能状態	待ち状態
4	実行状態	待ち状態	実行可能状態
5	待ち状態	実行可能状態	実行状態

イ 3つのタスクの優先度と、各タスクを単独で実行した場合のCPUと入出力 (I/O) 装置の動作順序と処理時間は、表のとおりである。優先度方式のタスクスケジューリングを行うOSにおいて、3つのタスクが同時に実行可能状態になってから、全てのタスクの実行が終了するまでの、CPUの遊休時間はどれか。1～5から一つ選べ。ここで、CPUは1個であり、1CPUは1コアで構成され、I/Oは競合せず、OSのオーバーヘッドは考慮しないものとする。解答番号は

	優先度	単独実行時の動作順序と処理時間 (ミリ秒)
タスクA	高	CPU(3)→I/O(6)→CPU(2)→I/O(5)→CPU(3)
タスクB	中	CPU(3)→I/O(4)→CPU(2)→I/O(3)→CPU(3)
タスクC	低	CPU(1)→I/O(4)→CPU(2)→I/O(4)→CPU(2)

1 1ミリ秒 2 2ミリ秒 3 3ミリ秒 4 4ミリ秒 5 5ミリ秒

ウ 仮想記憶管理におけるページ置き換えアルゴリズムとして、LRU方式を採用する。参照かつ更新されるページ番号の順番が、1→2→3→1→4→1→2→5で、ページ枠が3のとき、ページフォルトに伴って発生するページアウトは何回か。1～5から一つ選べ。ここで、初期状態では、いずれのページも読み込まれていないものとする。解答番号は

1 3回 2 4回 3 5回 4 6回 5 7回

エ RASISとは、コンピュータシステムを安心して利用するために備えて置くべき5つの性質の頭文字を並べたものである。次の説明のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|------------------------|--|
| ① Reliability (信頼性) | いつでも利用できることである。 |
| ② Availability (可用性) | 正常に稼働することである。 |
| ③ Serviceability (保守性) | 故障や障害を修復し利用できるようにすることである。 |
| ④ Integrity (完全性) | システムの障害などで、誤動作したりデータが破壊されたりしないことである。 |
| ⑤ Security (機密性) | 許されたユーザだけがシステムを使えるようにし、万一不正にアクセスされてもデータの漏えいがないことである。 |

	①	②	③	④	⑤
1	○	×	×	○	×
2	○	○	×	○	○
3	×	○	○	×	×
4	×	×	○	○	○
5	×	×	○	×	○

(3) 表計算ソフトを使用して、さいころのシミュレーションを行うことにした。下図に示す表計算ソフトウェアの画面を見て、次のア～ウの問いに答えよ。ただし、表計算ソフトウェアの仕様は別頁に示すとおりである。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	No	乱数	さいころの目		さいころの目	度数	確率	
2	1	0.189367	2		1	247	0.1647	
3	2	0.068738	1		2	247	0.1647	
4	3	0.304546	2		3	233	0.1553	
5	4	0.756892	5		4	244	0.1627	
6	5	0.81896	5		5	286	0.1907	
7	6	0.970176	6		6	243	0.1620	
8	7	0.088333	1			1500	1.0000	
9	8	0.158292	1					
1496	1495	0.364886	3					
1497	1496	0.326959	2					
1498	1497	0.108075	1					
1499	1498	0.743692	5					
1500	1499	0.832829	5					
1501	1500	0.280446	2					

セルB2 からセルB1501 の数式： =RAND()
 セルF8 の数式： =SUM(F2:F7)

ア セルC2に数式を入力し、セルC3からセルC1501までコピーして上図の結果を得るためには、セルC2に入る最も適切な数式はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 = INT(B2 * 6) 2 = INT(B2 * 6) + 1 3 = INT(B2 * 10) + 1
 4 = ROUND(B2 * 6 , 1) 5 = ROUND(B2 * 6) + 1

イ セルF2に数式を入力し、セルF3からセルF7までコピーして上図の結果を得るためには、セルF2に入る最も適切な数式はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 = COUNTA(\$C\$2 : \$C\$1501) 2 = COUNTA(\$E\$2 : \$E\$7)
 3 = COUNTIF(\$B\$2 : \$B\$1501 , E2) 4 = COUNTIF(\$B\$2 : \$B\$1501 , F2)
 5 = COUNTIF(\$C\$2 : \$C\$1501 , E2)

ウ セルG2に数式を入力し、セルG3からセルG7までコピーして上図の結果を得るためには、セルG2に入る最も適切な数式はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 = F2 / F8 2 = \$F\$2 / \$F\$8 3 = \$F\$2 / F8
 4 = F2 / \$F\$8 5 = F8 / \$F\$2

表計算ソフトウェアの仕様

<セルの名称と値について>

- ・列名はA列からアルファベットで表示されている。
- ・行名は1行から順に整数で表されている。
- ・セルは列名と行名を組み合わせて、「A1」のように名前がついている。
- ・式の中でセル名を用いたときには、該当するセルの値となる。

<セルの範囲指定について>

- ・始点となるセルと終点となるセルの名前を「:(コロン)」で接続することによって、1列、1行、または矩形となるセルの範囲を表すことができる。

(例) 「A1:B10」は、A1からB10まで2列10行、20個のセルの範囲となる。

<式の記述について>

- ・セルには計算のための式を書くことができる。
- ・式は「= (イコール)」に続けて、数値、演算子及び関数を書くことで表現する。

(例) 式「= A1 + A2」はセルA1の値とA2の値の和を表す。

<演算子について>

- ・算術演算子として、「+ (和)」、「- (差)」、「* (積)」及び「/ (商)」を利用する。

<関数について>

- ・関数は「関数名 (引数)」の形で表される。
- ・次の関数が利用できる。

COUNTA(値1, 値2, …) 指定したセル範囲内で、空白セル以外のセルの個数を求める。

(例) COUNTA(E1:E5) … E1からE5までの間で、空白セル以外のセルの個数を返す。

COUNTIF(範囲, 検索条件) 指定した範囲内で、条件に合うセルの個数を求める。

(例) COUNTIF(D1:D5, "○") … D1からD5の間で「○」の個数を返す。

INT(数値) 数値を超えない最大の整数を求める。

(例) INT(B1) … B1の値を超えない最大の整数値を返す。

RAND() 0以上1未満の範囲で実数の乱数を発生させる。

ROUND(数値, 桁数) 指定した桁数に応じて数値を四捨五入する。

(例) ROUND(C1, 2) … 小数点以下3桁で四捨五入した値を返す。

SUM(数値1, 数値2, …) 数値の合計を求める。

(例) SUM(A1:A5) … A1からA5までの数値の合計を返す。

<セルの参照について>

・相対参照

数式や関数を入力したセルをコピーするとき、コピー元のセルと貼り付け先のセルの位置関係を保つように、数式や関数内で参照しているセルを調整する参照形式。

(例) セルC6の数式を、セルD6らF6までコピーした場合

	A	B	C	D	E	F
1	店舗	商品名	4月	5月	6月	合計
2	A店	鮭おにぎり	100	200	200	500
3		鶏そぼろおにぎり	300	600	550	1,450
4	B店	鮭おにぎり	150	200	150	500
5		鶏そぼろおにぎり	250	300	200	750
6		総計	=SUM(C2:C5)			

	A	B	C	D	E	F
1	店舗	商品名	4月	5月	6月	合計
2	A店	鮭おにぎり	100	200	200	500
3		鶏そぼろおにぎり	300	600	550	1,450
4	B店	鮭おにぎり	150	200	150	500
5		鶏そぼろおにぎり	250	300	200	750
6		総計	=SUM(E2:E5)	800	1,300	1,100

セルC6… 「= SUM(C2 : C5)」

セルE6… 「= SUM(E2 : E5)」

・絶対参照

数式や関数を入力したセルをコピーするとき、貼り付け先のセルの位置に関係なく、コピー元の数式や関数内で参照しているセルを固定する参照形式。

(例) セルB8の数式を、セルC8、セルD8へコピーした場合

	A	B	C	D	E
1		商品単価			
2		鮭おにぎり	¥120		
3		鶏そぼろおにぎり	¥150		
4					
5		鮭おにぎり			
6	A店	4月	5月	6月	
7		総売上数	250	400	350
8		総売上高	= \$B\$2 * B7		

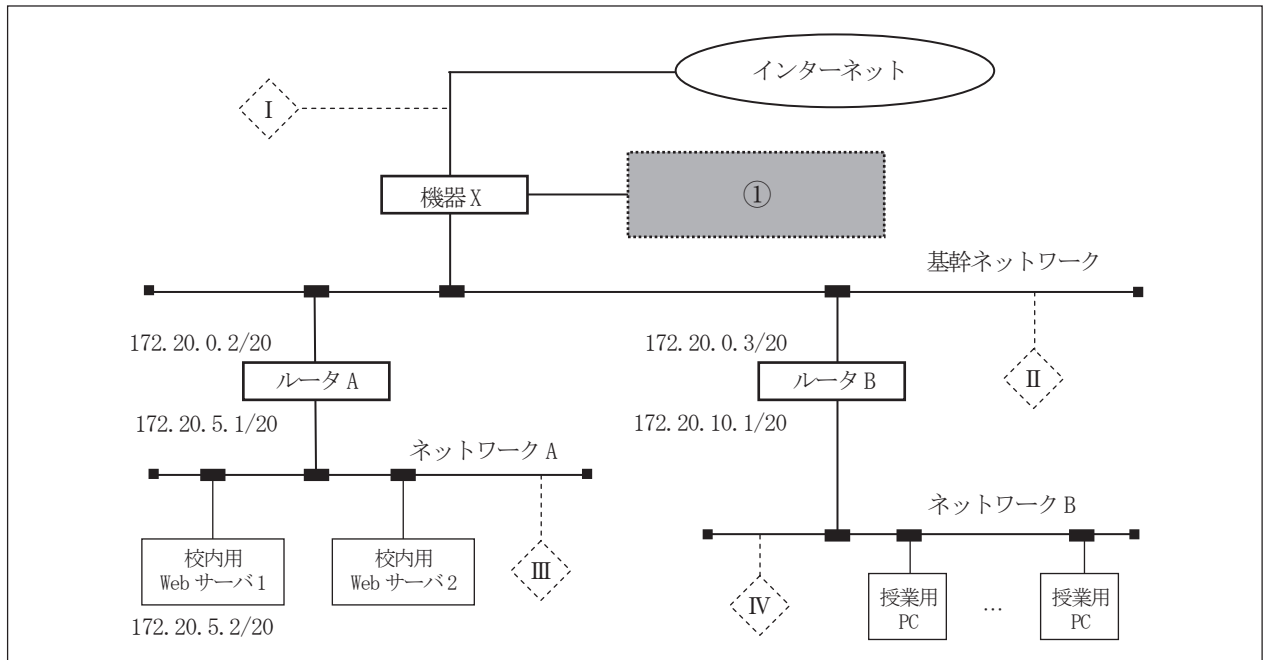
	A	B	C	D	E
1		商品単価			
2		鮭おにぎり	¥120		
3		鶏そぼろおにぎり	¥150		
4					
5		鮭おにぎり			
6	A店	4月	5月	6月	
7		総売上数	250	400	350
8		総売上高	= \$B\$2 * D7	¥30,000	¥48,000

セルB8… 「= \$B\$2 * B7」

セルD8… 「= \$B\$2 * D7」

3 次の(1)～(6)の問いに答えよ。

次の図は、ある学校のネットワークを表したものである。



(1) このネットワークのサブネットマスクとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 255.0.0.0 2 255.240.0.0 3 255.255.240.0
- 4 255.255.255.0 5 255.255.255.240

(2) 次の表中に、校内用Webサーバ2に設定可能なIPアドレスはいくつあるか。1～5から一つ選べ。解答番号は

172.20.0.1	172.20.0.255	172.20.5.100	172.20.5.254
172.20.5.255	172.20.10.0	172.20.10.100	172.20.10.200

- 1 2つ 2 3つ 3 4つ 4 5つ 5 6つ

(3) 図の網掛け部①は、インターネットからの悪意のあるアクセスを遮断し、内部ネットワークを守るために設置される緩衝地帯である。最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 DMZ 2 VPN 3 NAT 4 DES 5 VLAN

(4) 機器 X は、(3) の箇所への分離をおこなう機器である。この機器 X の名称として最も適切なものはどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 L2 スイッチ 2 L3 スイッチ 3 リピータ
4 ルータ 5 ファイアウォール

(5) 生徒の情報を一元管理することを目的としたファイルサーバを新たに設置することとした。図中 I～IV のうち、設置することが可能な箇所のみをすべて列挙したものはどれか。1～5 から一つ選べ。

なお、設置するファイルサーバへは、学校内のネットワークに接続された、すべての端末からアクセスすることができるものとする。解答番号は

- 1 I 2 III、IV 3 IV 4 II、III、IV 5 II

(6) 導入するファイルサーバには、データ破損への対応としてRAID技術を導入することにした。
次のRAIDについての教員と生徒の会話を読み、ア～エの問いに答えよ。

教員：複数のハードディスクを一つのドライブとして認識し、システムの高速化や信頼性を高める技術としてRAIDがあります。今日は、RAIDについて確認しましょう。
代表的なものにRAID 0とRAID 1があります。それぞれの名称は何でしたか。

生徒：はい。RAID 0は 、RAID 1は と言います。

教員：そうですね。では、RAID 0とRAID 1はどのようなものでしたか。

生徒：RAID 0は 、RAID 1は でした。

教員：そうですね。それぞれに特徴があり、どの構成を導入するかを考えることが大切です。
例えば、ファイルを保存できる総容量も異なります。

では、容量が10TByteのハードディスク3台を一つのドライブとして使用する場合、RAID 0とRAID 1で使用可能な容量はそれぞれ何TByteになりますか。

生徒：RAID 0の場合 、RAID 1の場合 となります。

教員：その通りです。ハードディスクの台数が同じでも、どのRAIDで構築するかによって総容量が違います。また、複数台のハードディスクのうち、2台のハードディスクが故障してもデータを復元できるものや、読み書き速度に特化したものがあります。
何を重視しRAIDを構築するのが大切であることを覚えておきましょう。

ア 文中の空欄②～③に該当する最も適切な語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | ② | ③ |
|---|---------|---------|
| 1 | ミラーリング | ストライピング |
| 2 | ボンディング | ミラーリング |
| 3 | ストリーミング | ストライピング |
| 4 | ミラーリング | ボンディング |
| 5 | ストライピング | ミラーリング |

イ 文中の空欄④～⑤に入る説明文はどれか。適切なものをそれぞれ選べ。

解答番号は、④は 、⑤は

- 1 3台以上のハードディスクを使用して、1台にはデータから生成した誤り訂正符号を、ほかのハードディスクにはブロック単位に分割したデータを分配して記録しています。
- 2 2台以上のハードディスクに同じデータを記録しています。
- 3 データをブロック単位に分割し、2台以上のハードディスクに分配して記録しています。
- 4 データをビット単位やバイト単位で分割し複数のハードディスクに記録し、さらに、別の複数のハードディスクに誤り訂正符号を記録しています。
- 5 3台以上のハードディスクに、データから生成した誤り訂正符号とブロック単位に分割したデータを分配して記録しています。

ウ 文中の空欄⑥～⑦に該当する最も適切な語句の組合せはどれか。適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | ⑥ | ⑦ |
|---|---------|---------|
| 1 | 30TByte | 10TByte |
| 2 | 20TByte | 10TByte |
| 3 | 30TByte | 20TByte |
| 4 | 10TByte | 30TByte |
| 5 | 20TByte | 15TByte |

エ 文中の下線部について、次の代表的なRAIDの中で、複数台のハードディスクのうち2台のハードディスクが破損してもデータを復元することができるものと、読み書き速度が最も速いものの組合せとして、適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

【代表的なRAID】 RAID 0 RAID 1 RAID 5 RAID 6 RAID 10

- | | 復元できるもの | 最も速いもの |
|---|---------|--------|
| 1 | RAID 10 | RAID 6 |
| 2 | RAID 6 | RAID 0 |
| 3 | RAID 5 | RAID 0 |
| 4 | RAID 10 | RAID 1 |
| 5 | RAID 6 | RAID 1 |

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

4 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

25

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及びの作成の推進、の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を に捉える観点別学習状況の評価と、これらを に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 アーイーウ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーウーエ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

